

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質 問	回 答
1	入札公告	P3	<p>消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札公告 六 その他 2 入札保証金「ただし、規則第108条の2の規定に該当する者は、これを免除する。」と記載がございますが、山梨県財務規則第108条の2の2に記載の「令第六十七条の五に規定する資格を有する者による競争入札に付する場合において、その者が契約を締結しないこととなるおそれがないと認められるとき」が適用される条件をお示しいただけますでしょうか(本条に従い入札保証金の納付の免除を申請致したく、免除申請の様式、記載内容等についてもご教示ください。)</p>	<p>入札説明書4 入札に参加するために必要な資格等(5)山梨県物品等競争入札参加資格者名簿への登録により、審査を受けていると解されるため、免除申請は必要ありません。</p>
2	入札説明書	P1	<p>入札説明書 2 入札に付する事項(2)納入場所 仕様書第9 納入 2 納入場所に、『本県指定場所』と記載がございますが、入札説明書に記載の『山梨県防災局消防保安課消防防災航空担当(山梨県甲斐市宇津谷445番地の1)』が納入場所という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりです。ただ、納期が3年後のため、変更等が生じれば、協議させていただきたいと存じます。</p>
3	入札説明書	P3	<p>入札説明書 6 入札参加資格の確認(4)才『契約の履行等申立書(様式4)』にて『2 入札説明書4(3)に記載されている事項を確認できる書面、3 入札説明書4(4)に記載されている事項を確認できる書面』の添付が求められております。記載様式や内容についてご指定の条件が御座いましたらご指示をお願い申し上げます。</p>	<p>入札説明書4-(3)については、製造業者から入札参加事業者に対し、仕様書に適合した物品を確実に納入することを証した書面(供給品の規格、納期等)。 入札説明書4-(4)については、物品の納入後、知事の求めに応じて修繕、保守等のサービスを提供する旨を証した書類、入札参加事業者との契約等、サービス提供体制が整っていることが証明出来る書面をお願いします。(保守体制、事業所名、サービス提供体制等) それぞれ様式は任意です。</p>
4	入札説明書	P3	<p>入札説明書 6 入札参加資格の確認(4)カ 『発注者である山梨県の委託を受けて山梨県消防防災ヘリコプターとして本機の運航及び整備を適切に行うことができる者(以下「運航・整備受託者という。」)があることを証明する書類』と記載がございますが、運航・整備受託者の条件(規模や実績等)が御座いましたらご指示をお願い申し上げます。</p>	<p>消防防災ヘリコプターを二人操縦士体制により、通年運航できる体制を確保できる者、具体的には、操縦士2名、操縦士交代要員1名以上、整備士3名、整備士交代要員2名以上、運航管理者1名、運航管理者交代要員1名以上を運航要員として確保できる者となります。</p>
5	入札説明書	P4	<p>入札説明書 10 入札方法等(1)『落札決定にあつては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額〜』と記載がございますが、『入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額〜』という理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりです。入札説明書の表記誤りです。申し訳ございませんでした。</p>

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質問	回答
6	入札説明書	P5	<p>入札説明書 15 契約に関する事項(4)『本件調達に係る契約は、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」(昭和39年山梨県条例第13号)に基づき山梨県議会において議決を付す必要のある契約であるので、議決があるまでの間は仮契約とし、議会の同意を得たときに契約が成立するものとする。』と記載がございますが、予定される入開札日に落札者が決定し、すみやかに仮契約を締結した場合の想定される議会の議決日をご教示頂けますでしょうか。</p>	<p>本年度の9月議会を予定しており、現在、日程は未定ですが、参考に昨年度の9月議会の会期日程をお示しします。 開会日：令和7年9月24日 閉会日：令和7年10月9日</p>
7	仕様書	P1	<p>仕様書 第1 総則 7 「機体の安全性能について、次に掲げる米国連邦航空規則(FAR)における最新の基準を例外なく全ての内容について満たしていること。」と御座いますが、公告日時点における、FARの最新(2023年2月10日)改正番号PART 29 Amdt. 59(本邦航空局の耐空性審査要領改訂版62、欧州航空安全局のCS-29 Amdt. 12)に對しての適合という理解で宜しいでしょうか。 又、当該項目(細項目を含む)の適合性は、航空当局が公表・管理する資料により客観的に確認できることが前提となる、という理解でよろしいでしょうか。 「航空当局が公表・管理する資料」として、例えば、本邦航空局承認の航空安全情報管理・提供システムに掲載される耐空性審査要領(改訂第62号)及び関連資料、型式証明データシート(TCDS)等の当局資料、ならびに当局が示す基準・適合関係を確認し得る資料(対照表・一覧等)が適当であるという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりで問題ありません。当方で客観的な資料で確認できる方法でお願いします。</p>
8	仕様書	P2	<p>仕様書 第1 総則 8 受注者の責務(2) 「納入検査時までに発行された国土交通省航空局の耐空改善通報、製造者の技術通報及び技術情報に示された点検・改善等の必須事項(Mandatory)及び飛行性能に影響を及ぼすオプション事項(Optional)は、受注者の責任において実施すること。なお、上記以外のオプション事項(Optional)については、本県が必要性を精査し、その都度実施について協議する。」とありますが、オプション事項については、航空当局が発行する耐空性改善通報(TCDやAirworthiness Directive)とは異なり、メーカーが発行する安全性に直接影響しない改良・利便性・軽微変更(耐空性に影響はない)にあたる任意文書であることから、原則的には作業不要という理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりです。</p>
9	仕様書	P3	<p>仕様書 第2 構造等 4 キャビン 「正副操縦士席を除く客室内に4以上の座席を確保した上で、固定可能な構造のメインストレッチャー(長さ180cm以上、幅45cm以上)1基を機軸に対して直角に置くスペースを有すること。」とありますが、機軸はロール軸(機首と尾翼を結ぶ前後軸)という理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>機軸については、前後軸、左右軸双方で想定しております。 機体の中で斜めの配置とならないよう、指定しているものです。</p>

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質 問	回 答
10	仕様書	P3	<p>4 キャビン (1) 正副操縦士を除く客室内に4以上の座席を確保した上で、固定可能な構造のメインストレッチャー(長さ180cm以上、幅45cm以上)1基を機軸に対して直角に置けるスペースを有すること。 上記要求仕様書につきまして、メインストレッチャーを機軸方向のみ固定・格納な構造で、横軸直角方向での設置が困難であっても、運用上および安全上の要件を満たすものと考えております。つきましては、本要件につきましてご高配賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>機軸については、前後軸、左右軸双方で想定しております。 機体の中で斜めの配置とならないよう、指定しているもので、貴見のと通りの配置で問題はありません。</p>
11	仕様書	P4	<p>仕様書 第3 性能等 【その他の条件】 「最新の飛行規程等の公的に承認された技術資料を根拠とする～」と御座いますが、適合判定に用いる資料については、製造者または認証当局により正式に承認・発行された文書を原則とする理解でよろしいでしょうか。また、電子端末上の資料のみが存在する場合には、適合判定の客観性確保の観点から、既存の同型機体に搭載された端末の実機操作等により、資料の原本性および真正性を確認する必要があるとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりで問題ありません。当方で客観的な資料で確認できる方法でお願いします。</p>
12	仕様書	P4	<p>仕様書 第3 性能等 1 救助活動能力 「次の設定条件において、高度3,000m地点で空中停止した状態で1名以上の救助が可能であるOGE(地面効果外)ホバリング性能(最大連続出力(MCP)で計算)を有すること」と記載がございますが、 (1) 高度3,000m(3千メートル)で宜しいでしょうか。 (2) ホバリング性能(最大連続出力MCP)で計算と記載がございますが、これは山岳地帯における気象条件(横風や吹き降ろし等)を考慮し、エンジン出力の余剰を確保するために、「離陸出力(Take Off Power)」ではなく、「最大連続出力(Max Continuous Power)」にて仕様を満たすことが求められると理解してよろしいでしょうか。 (3) 「捜索。救助用の航空機が座席を取り外して運航する場合における搭乗者の安全確保について(国空航第277号、国空機第340号、平成20年7月1日付)」に基づく、「消防防災ヘリが座席を取り外して捜索、救助又はそのための訓練を行う場合の特例運用申請」は、機体納入後に貴県と運航会社にて協議のうえ、申請を頂けると言う理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>(1) (2) (3)とも貴見のとおりです。(1)については、表記誤りです。申し訳ございませんでした。</p>

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質 問	回 答
13	仕様書	P5	<p>3 消火活動能力 次の設定条件において、高度1,000mの地点で消火活動を行い消火効果が見込まれること。 (2) 搭乗者6名(正副操縦士2名、隊員4名) 搭乗者隊員4名を搭乗させる理由についてご教示いただきたく存じます。 当社の認識では、活動拠点までの移動時にはPi/Co-Piを含む計6名で現場へ向かい、消火活動時にはPi/Co-pi2名に加え、後部隊員1名の計3名で運用し、可能な限り散水量を確保する運用形態が一般的と考えております。 このため、現行の「搭乗者4名」を前提とした配置要件につきましては、実運用との整合性の観点から、活動時の必要人数の再検討をご検討賜りたくお願い申し上げます。</p>	<p>本県では、近年、大規模な林野火災が多発しており、地上の現地本部との連絡調整、散水箇所の情報共有、更には、給水時の安全対策など、より効果的な散水活動の必要性が高まっていることから、散水、機体監視(左右)及び散水補助、ヘリテレ操作、現地本部とのリアルタイムの連絡のため、常時ではありませんが、最大隊員4名での散水が可能な体制が確保できる性能を求めています。</p>
14	仕様書	P5	<p>仕様書 第3 性能等 3 消火活動能力 「(6) 消火活動を必要とする火災出動時、消火バケツ1基を収納袋に入れ、円盤面を水平に客室スライドドアから客席等機内装備品に接触することなく積み下ろしできること」と記載がございますが、貴県保有の消火バケツ(Bambi MAX 9109タイプ 型式BBX2024)をキャリーバッグ(Max Carrying Bag)に梱包した状態で、スライドドアから機内装備品に接触することなく、積み下ろしできることという理解で宜しいでしょうか。その場合、梱包した状態の寸法をご教示頂けますでしょうか。</p>	<p>長さ約140cm×幅約90cm×厚み約50cmとなります。</p>
15	仕様書	P5	<p>仕様書 第3 性能等 6 病院における屋上の離着陸場『設計重量×3.25>ヘリコプター最大全備重量×2.25となること。』と記載がございますが、山梨県立中央病院は、7.8t(=3.25×5.4t/2.25)までの最大全備重量の機体であれば離着陸が可能という理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりです。</p>
16	仕様書	P8	<p>仕様書 第6 検査 9 耐空証明検査 「納入前に300飛行時間以下及び1年以下の点検を実施し、航空法第10条に定める耐空証明を再取得すること。」と記載がございますが、更新耐空証明検査に係る点検内容は、一般に飛行時間および暦日(経過期間)に応じて適用されるものと認識しております。そのため、当該記載における点検の実施範囲については、機体の実際の飛行時間および経過期間に基づき該当する点検項目を実施し、結果として航空法第10条に基づく耐空証明を再取得することで満足するとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおりです。</p>

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質 問	回 答
17	仕様書	P8	仕様書 第7 保証 「(5) (1)～(4)までに掲げるもの以外の装備品～」と記載がございますが、現在、本邦では航空機搭載用の消防用無線装置(デジタル式)を製造しているメーカーが存在せず、車載型消防用無線装置を、修理改造検査にてヘリコプターに搭載する必要がございます。この場合、当該無線装置の保証については、無線メーカーの規定に準ずる必要がございますが、ご了承を頂けますでしょうか。又、本邦にて修理改造検査で装備する国内装備品の保証期間は、機体を納入した日から起算して1年という理解で宜しいでしょうか。	貴見について了承します。また保証期間についても貴見のとおりです。
18	仕様書	P13	22 機内乗員通話装置(ICS)1式 ①操縦室に2台、客室に3台以上の制御器を設置すること。 客室に3台以上の制御器を設置せずとも、要求される機内乗員通話機能を適切に確保できるものとして、制御器の台数の再検討をご検討賜りたくお願い申し上げます。	性能として、仕様書で求める機内乗員通話機能が確保されているのであれば、貴見のとおりで問題ありません。
19	仕様書	P14	仕様書 別表1 装備品一覧 1 操縦・航法・通信関連装備品(基本装備) 25 GPS(全地球測位システム)地図表示装置 「③キャビンはタッチパネルディスプレイを備えること」と記載がございますが、ヘリコプターテレビ伝送システムのカメラ操作者用モニターと兼務という理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。
20	仕様書	P15	29 高視認性白色ストロボライト 機体外部の4箇所に設置すること。 航空法施行規則では「航空機の視認性を確保する灯火を備えること」と規定されており、灯火の個数についての明確な指定は確認できておりません。そのため、視認性を確保できる構成であることを前提に、最低1個以上の設置でも要件を満たすものとして個数の再検討をご検討賜りたくお願い申し上げます。	機体の視認性を確保することが目的のため、機体の大きさや形状に併せて、最大4個として記載しましたが、説明不足でした。要件を満たすのであれば、貴見のとおりで問題ありません。
21	仕様書	P16	51 キャビンエクステンション 本装備品につきまして、まず当該装備品の具体的な仕様及び機能の詳細についてご教示いただけますでしょうか。 また、要求仕様では「本装備品は製造業者の仕様による」とされておりますが、当該装備品を搭載しなくとも、機体として必要な性能・機能を十分に確保できると判断される場合には、本装備品を必須としない取り扱いとして理解してよろしいでしょうか。	キャビンが拡張出来る構造であること。例えば、客室と荷物室が内部でつながられるなどの運用を想定しており、機体としてその能力を有していれば、貴見のとおり、新たに当該装備を設置する必要はありません。
22	仕様書	P16	仕様書 別表1 装備品一覧 1 操縦・航法・通信関連装備品(基本装備) 48 リベリング装置 『装備品一覧 3 消防・防災仕様装備品 64 リベリング装置』と同一品目という理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。重複しておりました。申し訳ございません。

消防防災ヘリコプターの調達に係る一般競争入札 質問回答書

No.	書類名	ページ	質問	回答
23	仕様書	P17	仕様書 別表1 装備品一覧 1 操縦・航法・通信関連装備品（基本装備） 6 1 機内電源取出目『DC28V10A以上～』と記載がございますが、『交流AC115V』は不要という理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。
24	仕様書	P19	別表2 ヘリコプターテレビ電送システム（機上設備）1 機外カメラ装置 「カラー可視カメラ（1）有効画素数は、1980×1080画素以上を有すること。」と記載がございますが、一般的な映像規格であるフルHDは「1920X1080画素」であることから、本仕様はフルHD以上を意図しているものという理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。表記の誤りです。申し訳ございません。
25	仕様書	P21	別表2 ヘリコプターテレビ電送システム（機上設備）3 映像送信部 「3 映像用空中線（3）空中線昇降装置により、地上ではアンテナを跳ね上げられること。」と記載がございますが、機体底部に電波を遮る大型の遮蔽物がなく取付位置の協議により固定型の空中線装置と、性能面に違いが無い場合は、機器を可能な限り小型かつ軽量化させるため、昇降機能を免除して頂くことは可能でしょうか。	必要な性能を有していれば、貴見のとおりで問題ありません。
26	仕様書	P25	別表3 付属品 7 4 「座席カバー（数量2式）」と記載がございますが、最大座席数12座席を2セット（合計24席分）という理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。
27	仕様書	P25	別表3 付属品 7 8 特殊工具、7 9 航空機整備用工具・測定器具等 数量が「定員分」と記載が御座いますが、それぞれ1式という理解で宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。
28	仕様書	P25	別表3 付属品 8 1 ハイドロテストスタンド、8 2 エンジン洗浄装置「現有機用が使用できる場合は、その納品を省略することができる。」と記載が御座いますが、検証の為に現有機用機材のメーカーや型式（性能値）が分かるものをお示しいただけますでしょうか。	次のとおりです。 ・ハイドロテストスタンド TRONAIR社製 MODEL:5221 52215EA5AADGN ・エンジン洗浄装置 Kell-Strom社製 PWC32677-300